

教育プログラム・コースの概要

大学名等	藤田医科大学大学院医学研究科（医学専攻）						
教育プログラム・コース名	次世代がん医療コース（正規課程）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、薬剤師						
修業年限（期間）	医学専攻博士課程 4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院課程で緩和的放射線治療、核医学治療、神経ブロック、病理診断等を学び、学位取得後は地域に定着してこれらの医療を担う人材。 ・大学院課程でがん治療を学び、学位取得後は多職種連携による集学的な治療・ケアなど、QOL向上や終末期医療を担う人材。 ・大学院課程で臨床腫瘍学を系統的に学び、学位取得後は腫瘍循環器学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学等の学際領域にも対応できる医師、薬剤師。 						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義6単位及び実習12単位、学位論文研究6単位、選択式セミナー2単位、がんプロフェッショナルセミナー2単位及び医学研究プログラム2単位の計30単位を取得する。 ・担当教員による論文指導を受けた上で教授会が行う論文審査に合格する。 						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・講義及び実習は放射線医学、外科・緩和医療学、病理診断学、腎臓内科学等のがん治療を学び研究する科目より選択する。 ・講義は次世代がん医療講義（放射線治療学、病理診断学、緩和医療学、臨床腫瘍学、腫瘍循環器学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学、チーム医療学等を含む体系的講義）2単位を必修とする。 ・実習はがん遺伝子パネル検査で行われるエキスパートパネル実習を含む。 ・がんプロフェッショナルセミナーではがん研究の最先端トピックを学内外の講師に講演を依頼し、がん領域の最先端知識を学習する。 ・社会人大学院生が受講しやすいようにオンデマンド受講やオンライン受講を認める。 						
がんに関する専門資格との連携	日本緩和医療学会、日本病理学会、日本ペインクリニック学会、日本臨床腫瘍学会、日本放射線腫瘍学会、日本がん治療認定機構、日本乳癌学会、日本婦人科腫瘍学会、日本乳癌学会、日本医療薬学会等の教育機関として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・「次世代がん医療」コースとして新たに設置する。がん治療を系統的に学習できるように既存科目を大幅に見直し再編成するとともに、多職種チーム医療による集学的な治療・ケア、緩和医療・終末期医療、循環器腫瘍学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学など学際領域を発展的に取り入れ拡充した次世代がん医療講義及びがんプロフェッショナルセミナーから構成される。臨床中心にしつつ、基礎医学実習から最先端の研究手法まで幅広く学べるという特色がある。 ・医師、歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、認定遺伝カウンセラーによる多職種チーム医療/集学的医療が行われる現場を通して実践教育を行う。放射線治療医、神経ブロックを行う麻酔医、病理診断医を目指す大学院生は、本コースによってがん治療学を系統的に学修できる。 ・学際領域では腫瘍循環器学は産学連携研究を基盤として、腫瘍腎臓病学は腎臓内科と連携して、老年腫瘍学は臨床腫瘍科が中心となり拡充する。 ・実習に、がん遺伝子パネル検査で行われるエキスパートパネル参加や報告書作成、多職種のチーム医療が行われている外来薬物療法センター見学等を取り入れる。 ・本学は本邦で初めて緩和医療学講座を開設した大学である。2つの緩和ケア病棟と緩和医療外来を備えた緩和医療センターとペインクリニックを有しており、難治性疼痛や精神的ケアなど、現場で顕在化している課題に対応する人材を養成する環境が整備されている。 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と学外所属の客員教員によるハイパス教育を行う。 ・担当教員はそれぞれの分野で優れた業績と教育実績を有する人物である。 						
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・本学では従来より、地域包括ケア中核センターを中心に、地域に定着して多職種連携によるがん医療を実践する医療人材を育成している。これら既存の枠組みを通じて修了者のキャリアパスを築くことができる。 ・オンライン講義やオンデマンド講義を利用することで、地域で活躍する人材が働きながら学習を継続できる環境が整備されている。 						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		8	8	8	8	8	40
受入目標人数設定の考え方・根拠	藤田医科大学では例年40名程度の博士課程大学院生を受け入れている。このうち、5分の1の大学院生参加を目標に毎年度8名に設定。						